

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	文化財保護対策の検討等		担当部局	文化庁	作成責任者		
事業開始年度	昭和46年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	文化財第一課 文化資源活用課 齋藤 憲一郎 文化財第一課 三輪 善英 参事官(生活文化創造担当) 児玉 大		
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	文化財保護法第1条		関係する計画、通知等	文化芸術推進基本計画(第2期)一価値創造と社会・経済の活性化(令和5年3月24日閣議決定) 文化審議会の答申(持続可能な文化財の保存と活用のための方策について(第二次答申))(令和4年12月16日文化審議会文化財分科会答申) 文化財の匠プロジェクト(令和3年12月24日文部科学大臣決定)			
政策	12 文化芸術の振興		主要経費	その他の事項経費			
施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-12_1.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	文化財は、建造物、美術工芸品、史跡名勝天然記念物、無形文化財、民俗文化財等多岐にわたり、それぞれの類型ごとに適切な保護を行う必要がある。一方で、各地域においては、文化財の類型を越えて総合的に活用することが求められている。本事業では、文化財の保護対策等を検討することにより、文化財の活用を図るとともに、文化財を次世代へ確実に継承することを目的とする。						
現状・課題(5行程度以内)	我が国の文化財は、国の歴史や文化の理解に欠くことのできない貴重な国民的財産であるとともに、魅力あふれる地域づくりの礎となり、地域の活性化に寄与するものである。そのため、文化財を適切に保存し確実に次世代に継承していくことは、国民共通の責務である。文化財を未来へ継承していくには、有形・無形の文化財の確実な継承のためには不可欠かつ代替不可能なものであるが、その継承には大きな課題があり、文化財修理等に係る専門的な人材の継続的な確保など、社会全体で支えていく体制づくりが急務となっている。また文化財の保存、継承には特別な用具や種々の原材料が不可欠であるものの、修理技術者同様、生産者の高齢化や減少等により、入手困難となっている。こうしたことを踏まえ、文化財の持続可能な保存体制の構築を図るため、「文化財の匠プロジェクト」を策定し、修理技術者等の確保から文化財の保存・継承に欠くことのできない用具・原材料の生産までを含めた一体的な体制の整備と計画的な修理等の取組を推進している。						
事業概要(5行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無形文化財「わざ」の理解促進事業：重要無形文化財に指定されている「わざ」の記録映画等を作成して、後世に保存・伝承していくとともに、我が国の無形文化財への理解促進を図る。 ○ 防災・防犯に関する研修会：文化財の所有者等が防災・防犯対策や補助事業について理解を深めるための研修会を実施する。 ○ 「地域の文化財の保存及び活用に関する総合的な計画」等普及促進事業：地方公共団体に対し、地域の文化財を総合的に保存・活用するための基本的な計画である「文化財保存活用地域計画」や「文化財保存活用大綱」等の策定に向けた指導及び助言等を行う。 ○ 伝統技術関連用具・原材料等調査事業：関係機関の相互協力により、伝統技術に用いられる用具・原材料について、これまでに蓄積してきた情報を踏まえつつ調査を実施する。 ○ 伝承団体形成促進事業：文化財保存技術の伝承体制を安定させるため、技術者の組織化を推進するとともに、技術者以外の多様な担い手の参画を促すことにより、文化財保存技術の伝承を促進する。 ○ 重要文化財(美術工芸品)文化財修理の伝統技術等継承事業：文化財の保存修理に必要な用具・原材料が危機的状況にあることを踏まえ、需給のマッチングや関係者のネットワーク構築等のため、情報発信や交流・研修を行うとともに、良質な原材料確保のため「産地設定」を行い管理業務への支援を行う。 ○ 無形の文化的所産調査：指定、登録等に係る価値付けの判断に至る前の段階の近代に成立・発展した風俗慣習や芸能等の無形の文化的所産等について、関係機関と連携しつつ機動的に文化財としての価値の調査を実施する。 ○ 美術工芸品修理のための用具・原材料と生産技術の保護・育成等促進事業：美術工芸品修理のための用具・原材料と生産技術の保護・育成等の促進をはかるための支援体制構築、調査研究、人材育成、情報発信を行う。 ○ 文化財修理センター(仮称)整備に向けた調査研究：文化財修理施設の建設に向けて基本計画の策定等を行う。 ○ 生活文化の振興等の推進：生活文化各分野の実態調査等を行い、生活文化の振興等の推進を図る。 						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施、委託・請負、補助						
補助率等	https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/hojo/pdf/92292601_01.pdf https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/bunkageijutsu_sinkohi_hojokin/r4/index.html						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	13	9	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 13	▲ 9	-	-	-
		予備費等(E)	-	▲ 26	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	209	180	258.6	225.6	620.9
		執行額(G)	108	152	188.4	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	52%	84%	73%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	49%	75%	75%	-	-
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	文化財保存事業費		重要政策推進枠 396百万円				
(目)	文化芸術振興委託費	102	117				
(目)	文化芸術振興費補助金	30	100				
(目)	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金	30	37				
(目)	その他	20	35				
(項)	文化庁施設費						
(目)	施設施工庁費		198				
(目)	その他		2				
(項)	文化振興費						
(目)	文化芸術振興委託費	40	128				
(目)	その他	4	4				
	計(A)	225.6	620.9				

活動内容① (アクティビティ)	無形文化財等の「わざ」を記録映画として作成し、記録資料をデジタル化する。また、全国の都道府県立図書館、博物館等にデジタル資料(DVD)を配布するほか、文化遺産オンライン等で公開し、「わざ」の理解を深めるための広報を行う。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	無形文化財の「わざ」を後世に保存・伝承し、国民への理解と「わざ」の普及を図る	無形文化財「わざ」の理解促進事業記録映画作成本数	活動実績	本	1	1	1	-	-	
当初見込み			本	2	3	1	1	-		
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	無形文化財等の記録保存を図るとともに、記録資料の活用の度合いを測るため。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
	本事業の作成物である記録資料の活用を図る	記録映画の配布先での活用度(配布先に対するアンケートの有効回答のうち「活用している」と回答した割合)	成果実績	%	-	100	98.3	-		
			目標値	%	85	90	90	100		
達成度			%	-	111.1	109.2	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	記録映画の配布先から回収した調査票を集計									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	無形文化財等の保存記録資料の活用を通し、無形文化財等への理解へ繋がっているかを確認するため。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
	無形文化財等の保存・伝承の機運醸成	記録映画の配布先での無形文化財等に対する「保存・伝承を支援したい」または「実際に保存・伝承に取り組んでいる」割合	成果実績	%	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	100		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	記録映画の配布先から回収した調査票を集計(令和5年度より設問に追加)									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)	都道府県教育委員会や美術館・博物館の職員等に対し、国宝・重要文化財(美術工芸品)等の効果的な防災・防犯対策及び国庫補助事業等についての説明を実施する。更に、所在不明文化財の発生防止や文化財保護法上の手続きの周知徹底を図る。									
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	文化財の適切な活用、保存及び継承を図る。	防災・防犯等に関する研修会研修会実施回数	活動実績	回	-	1	1	-	-	
			当初見込み	回	1	1	1	1	-	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) より多くの人々に文化財を適切に保存し継承するための効果的な防災・防犯対策、国庫補助事業の説明が行き渡っているかを数値化するため。									
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
	指定文化財の防災・防犯に関する効果的な対策や好例の積極的な共有を行い、所有者の防災・防犯対策の意識向上を図る。	防災・防犯対策研修会の参加者数	成果実績	組織	-	333	330	-		
			目標値	組織	-	400	400	500		
			達成度	%	-	83.3	82.5	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	出典: 研修参加ログ アカウント数に上限があるため、1組織あたり2アカウントまでと限定して実施している。									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) 研修会等を通じ、所有文化財に対する防災・防犯意識の向上を図り、文化財が適切に保存・継承されているかを判断するため。									
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
	所有者が文化財の防災・防犯対策を確実に実施し、文化財を適切に保存、次世代に継承する。	年度別所在不明指定文化財(美工品)割合(所在不明と判明したもの/年度末指定件数)	成果実績	%	1.3	1.3	1.3	-		
			目標値	%	-	-	-	1		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	出典: 各年度末における所在不明文化財(国指定・美工品)数									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容③ (アクティビティ)		「地域の文化財の保存及び活用に関する総合的な計画」等普及推進事業として地域計画普及促進研修を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		文化財の適切な活用、保存及び継承を図る。	「地域の文化財の保存及び活用に関する総合的な計画」等普及推進事業 地域計画研修会実施回数	活動実績	回	1	1	1	1	-
				当初見込み	回	1	1	1	1	-
↓										
成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		地域計画研修会において地域計画について自治体職員の理解を促し、地域計画作成予定の市町村数増加を目指す。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 10 年度	
		地域計画作成予定市町村の増加	地域計画作成予定市町村数	成果実績	件	74	66	58	-	
				目標値	件	50	50	50	50	
				達成度	%	148	132	116	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		根拠データ:「文化財保存活用地域計画」作成等状況調査								
↓										
成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		文化庁長官の認定基準を満たす文化財保存活用地域計画の件数の増加は、認定地域計画を有する市町村が、未指定文化財を含む地域の特徴を示す文化財の把握を進め、地域社会全体で文化財を継承する計画・体制を構築することを示しており、未指定文化財を含む文化財の保存・継承体制が、地域計画の認定件数の増加に従って、全国の市町村で確立される。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		文化財保存活用地域計画の認定件数の増加	文化庁長官認定を受けた文化財保存活用地域計画の累計件数	成果実績	件	23	58	96	-	
				目標値	件	30	60	90	200	
				達成度	%	76.7	96.7	106.7	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文化財保存活用地域計画の認定件数								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								

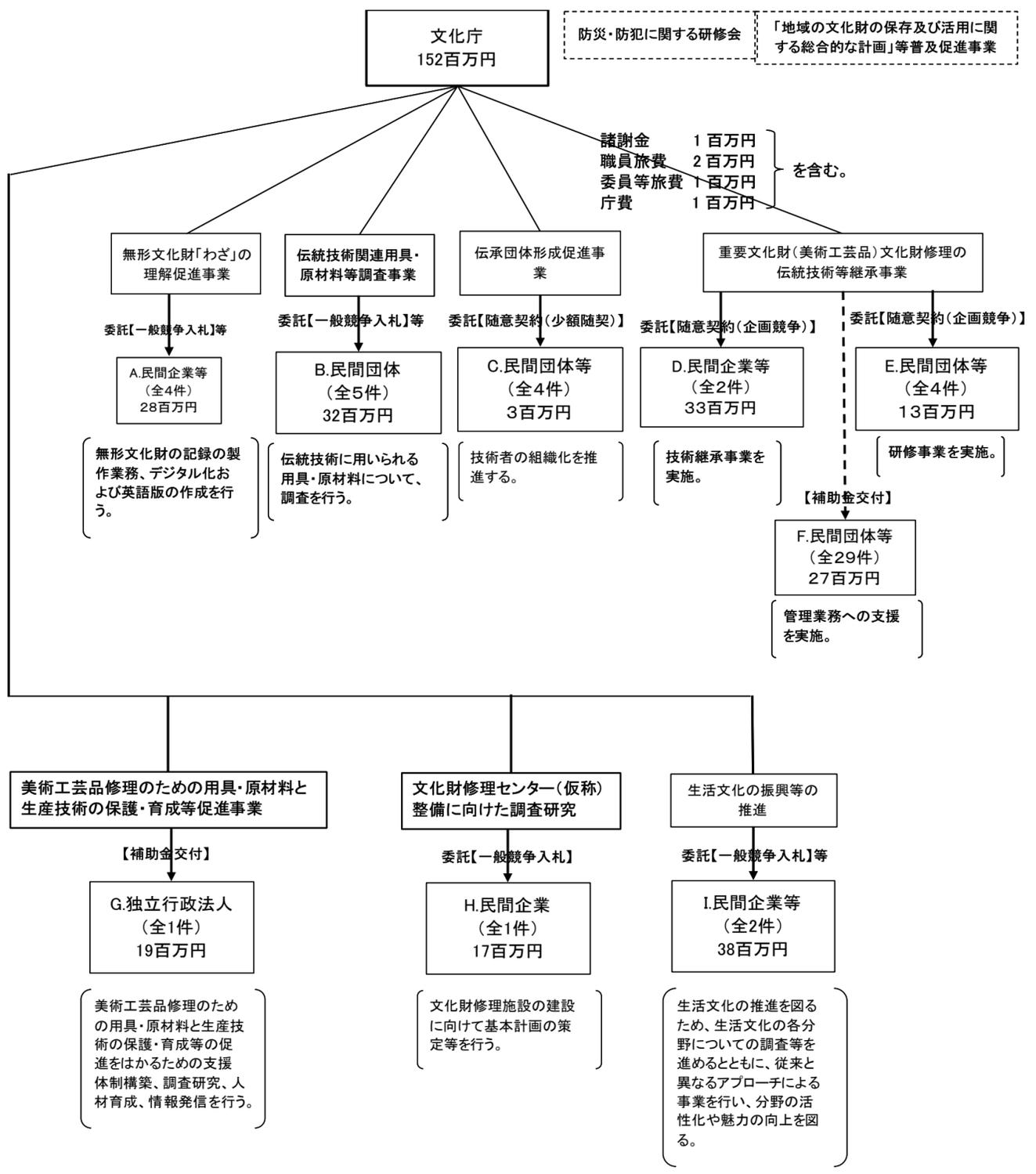
活動内容④ (アクティビティ)	有形文化財の保存修理に必要となる良質な用具・原材料を確保するために、生産状況を調査し、確保に向けての支援を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	有形文化財の用具・原材料管理等業務への支援を行う。	美術工芸品用具・原材料管理等業務支援事業 実施件数	活動実績	件	11	22	29		
			当初見込み	件	5	11	22	30	
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	広報事業を通じて、社会全体に対しての広く興味関心を呼び起こす。							
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
	各事業の広報活動を通じて広く一般の 興味関心の増加を図る	公開した動画の視聴者数、実 施した見学会、講演ののべ参 加者数	成果実績	数	-	-	1,000	-	
			目標値	数	-	-	-	2,500	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	管理等業務支援事業実績報告書、及び文化庁含めた機関での広報展開の参加者数を聞き取り。								
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	社会全体で文化財を支え護り伝えていく機運を醸成する。							
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
	文化財保存修理に対する寄付割合を 高める。	文化財保存・修復の分野に寄 付したことがある割合	成果実績	%	-	1.5	-	-	
			目標値	%	-	-	1.6	2	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文化に関する世論調査								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容⑤ (アクティビティ)	無形文化財の継承に必要となる良質な用具・原材料を確保するために、生産状況を調査し、確保に向けての支援を行う。									
↓										
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	無形の文化財の継承に取り組む事業者の実施する事業への支援を行う。	事業実施数	活動実績	件	1	1	1	-	-	
当初見込み			件	1	1	1	1	-		
↓	成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	事業を通じて、技の継承のために必要な研修会、及び発表会、並びに技の継承に必要な用具・原材料の確保に向けての関係者協議会、及び普及啓発を目的とするイベントなど、関係者を含め広く参加する機会を設ける								
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	研修会、協議会等の関係者が集まる機 会の設定	実施回数	成果実績	回	-	-	-	-		
			目標値	回	-	-	-	10		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	事業支援を行った団体を中心として無形の団体への聞き取り									
↓	成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	既存の事業者グループを団体化することで、より密な連携と継承への取り組みが行われるようする。								
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10年度		
	用具・原材料の確保を目的とする文化 財の保存団体の設立	団体の設立数	成果実績	団体	-	-	-	-		
			目標値	団体	-	-	1	2		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	各保持団体、保存団体からの情報提供									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由									

		アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載						チェック	<input checked="" type="checkbox"/>
事業に関連する KPIが定められて いる関連決定等	名称								
	URL								
	該当箇所								

事業所管部局による点検・改善	
点検結果	<p>本事業は、無形文化財保持者のわざの記録映像の作成、美術工芸品や建造物の防災・防犯対策指針の検討・研修会の実施、各地方公共団体における文化財保存活用地域計画の策定への支援、伝統的な用具・原材料の確保に向けた調査等を実施するものであり、文化財の次代への確実な継承へ向けて成果を挙げている。</p>
改善の方向性	引き続き契約の競争性・透明性を確保するとともに、執行の更なる効率化に努める。
外部有識者の所見	
外部有識者による点検対象外	
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	
事業内容の一部改善	最終目標年度しか目標値を設定していない項目があるため、事業達成に向けて途中段階での目標値を設定する必要があると考えられる。
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
年度内に改善を検討	所見を踏まえ、事業達成に向けて途中段階での目標値の設定を検討する。
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ
	上記への対応状況
	その他の指摘事項
	上記への対応状況
	備考
	-
関連する過去のレビューシートの事業番号	
平成23年度	391
平成24年度	414
平成25年度	380
平成26年度	375
平成27年度	371
平成28年度	351
平成29年度	360
平成30年度	361
令和元年度	文部科学省 - 0357
令和2年度	文部科学省 0360
令和3年度	0391
令和4年度	2022 文科 21 0391

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額 が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方 で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	旅費、借損料、消耗品費、雑役務費	11.4	人件費		7
	一般管理費	管理的経費	1.2	事業費	諸謝金、旅費、雑役務費等	2
	人件費	賃金	0.6	一般管理費		1
	計		13.2	計		10
	C.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	諸謝金、旅費、雑役務費等	0.9	事業費	消耗品費、通信運搬費、雑役務費等	23
	一般管理費		0.1	人件費		2
	計		1	一般管理費		3
	計		1	計		28
	E.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	諸謝金、旅費、雑役務費等	4	補助金	事業費	3
	一般管理費		0.4			
	計		4.4	計		3
	G.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	補助金	事業費	19	人件費		10
			事業費	諸謝金、旅費、雑役務費等	5	
			一般管理費		2	
計		19	計		17	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック <input checked="" type="checkbox"/>

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社桜映画社	9011001008980	映画製作	13.2	一般競争契約 (総合評価)	1	97.3%	
2	株式会社桜映画社	9011001008980	映画製作	8.6	一般競争契約 (総合評価)	1	91.8%	
3	株式会社日経映像	4010001025727	デジタル化及び英語版の作成	5.7	随意契約(その他)	1	100%	
4	一般財団法人日本青年館	3011105000237	記録作成	0.8	随意契約(少額)	-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人未来工学研究所	4010605000134	伝統芸能用具・原材料調査事業	10	一般競争契約 (総合評価)	2	98.8%	
2	公益財団法人未来工学研究所	4010605000134	伝統芸能用具・原材料調査事業	9	一般競争契約 (総合評価)	1	85%	
3	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	三味線撥などに使用する象牙代替品の開発及び実用化に関する調査研究	9	一般競争契約 (総合評価)	1	98.4%	
4	株式会社エスアイ総合研究所	1010001133490	美術工芸品保存修理用具・原材料調査事業	3	一般競争契約 (最低価格)	2	69.4%	
5	伊勢型紙技術保存会	-	型地紙調査事業	1	随意契約(少額)	-	100%	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	合同会社伝統工芸木炭生産技術保存会	5260003003507	選定保存技術情報交換事業	1	随意契約(少額)	-	100%	
2	久米島紬保持団体	-	伝承団体形成促進事業(久米島紬)	0.9	随意契約(少額)	-	100%	
3	重要無形文化財久留米絨技術保持者会	-	伝承団体形成促進事業(久留米絨)	0.8	随意契約(少額)	-	100%	
4	本場結城紬技術保持会	-	伝承団体形成促進事業(結城紬)	0.2	随意契約(少額)	-	100%	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社 修護	4010501032140	近代歴史資料の保存に関する調査研究事業	28	随意契約(企画競争)	1	100%	
2	一般社団法人国宝修理装飾師連盟	5130005005745	重要文化財(美術工芸品)文化財修理の伝統技術等継承事業(紙資料調査)	4	随意契約(企画競争)	1	100%	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人 全日本刀匠会事業部	5260005002944	文化財研修事業(伝統工芸・文化財保存技術)	4.4	随意契約(企画競争)	6	-	
2	合同会社伝統工芸木炭生産技術保存会	5260003003507	文化財研修事業(伝統工芸・文化財保存技術)	3	随意契約(企画競争)	6	-	
3	浮世絵木版画彫摺技術保存協会		文化財研修事業(伝統工芸・文化財保存技術)	3	随意契約(企画競争)	6	-	
4	公益財団法人 日本刀文化振興協会	4011505001585	文化財研修事業(伝統工芸・文化財保存技術)	3	随意契約(企画競争)	6	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社文化財保存	4150001007950	美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援	3	補助金等交付	-	-	
2	株式会社修美	6130001025267	美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援	3	補助金等交付	-	-	
3	株式会社修美	6130001025267	美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援	0.3	補助金等交付	-	-	
4	個人A	-	美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援	2	補助金等交付	-	-	
5	標津町森林組合	8462505000033	美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援	2	補助金等交付	-	-	
6	株式会社修護	4010501032140	美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援	1	補助金等交付	-	-	
7	個人B	-	美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援	1	補助金等交付	-	-	
8	株式会社坂田墨珠堂	2160001003554	美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援	1	補助金等交付	-	-	
9	株式会社松鶴堂	6130001026604	美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援	1	補助金等交付	-	-	
10	個人C	-	美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援	1	補助金等交付	-	-	
11	株式会社 岡墨光堂	7130001020168	美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援	1	補助金等交付	-	-	
12	株式会社 岡墨光堂	7130001020168	美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援	1	補助金等交付	-	-	

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人国立文化財機構	3010505001183	美術工芸品修理のための用具・原材料と生産技術の保護・育成等促進事業	19	補助金等交付	-	-	

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社 都市計画設計研究所	3011101014430	文化財修理センター(仮称)整備に向けた基本計画(業案)等作成支援	17	一般競争契約(総合評価)	1	92%	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	<input checked="" type="checkbox"/>

活動内容⑥ (アクティビティ)		国立文化財修理センターで修理を推進するとともに修理や用具・原材料の情報発信(普及啓発)を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ⑥ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		国立文化財修理センターの建設を確実に進める	委託事業者数	活動実績	者	-	-	1	1	1
当初見込み	者			-	-	1	1.	1		
成果目標⑥-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		国立文化財修理センターで修理を推進するとともに修理や用具・原材料の情報発信(普及啓発)を行う予定の内容について、先行して事業を進める。								
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
成果目標及び成果実績 ⑥-1 (短期アウトカム)		各事業の広報活動を通じて広く一般の興味関心の増加を図る	公開した動画の視聴者数、実施した見学会、講演ののべ参加者数	成果実績	人	-	-	300	-	
				目標値	人	-	-	-	1,000	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		管理等業務支援事業実績報告書、動画の視聴者数をカウント及び文化庁含めた機関での広報展開の参加者数を聞き取り。								
成果目標⑥-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		国立文化財修理センターで修理を推進するとともに修理や用具・原材料の情報発信(普及啓発)を行うことにより、修理の重要性に対する認知度を上げ、社会全体で文化財を支える機運を醸成する。								
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度	
成果目標及び成果実績 ⑥-3 (長期アウトカム)		文化財の保存修理が日本のアピールする文化の一つであるという認識を高める。	諸外国に発信すべき文化芸術のジャンルのうち、「文化財の保存に必要な材料製作・修理、修復の技術等」の割合	成果実績	%	-	7	-	-	
				目標値	%	-	-	7	8	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文化に関する世論調査								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑥について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ⑥についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容⑦ (アクティビティ)		生活文化と国民娯楽に関連する分野の基礎的な実態調査や個別調査を行い、調査結果に基づく保護措置や振興施策を検討する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ⑦ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		分野ごとの歴史的変遷、国民の興味・意識、関連団体の活動実態等を把握	調査事業数	活動実績	件	1	1	1	-	-
				当初見込み	件	1	1	1	1	1
↓		成果目標⑦-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		調査で得られたデータを分析・整理し、各分野の現状や課題を着実に把握する必要があるため。								
成果目標及び成果実績 ⑦-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		調査研究分野の増	具体的に調査研究が進行している分野の数	成果実績	分野	3	-	-	-	
				目標値	分野	3	-	-	6	
				達成度	%	100	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		生活文化調査研究事業報告書								
↓		成果目標⑦-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		調査研究によって分野の現状や課題を把握するとともに、振興等に向けて発信し、広めていく必要があるため。								
成果目標及び成果実績 ⑦-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		生活文化分野についてのホームページアクセス数の増	生活文化分野のサイトへのアクセス数が増している割合(対令和5年度比)	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	130.	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文化庁の生活文化に係る施策紹介ホームページのアクセス数(ぶんかる、生活文化、伝統文化親子教室等)								
↓		成果目標⑦-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		周知等に取り組みつつ、具体的な保護策が必要な分野については、保護策を、振興策が必要なものについては事業支援等の振興策を実施して、当該分野の活動を積極的に支える必要があるため。								
成果目標及び成果実績 ⑦-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		生活文化に関連する分野の保護・振興策に結びつけた分野の増	保護や振興策の取組を行った分野の数	成果実績	分野	-	4	2	-	
				目標値	分野	-	1.	2.	10.	
				達成度	%	-	400	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		生活文化に関連する分野の登録無形文化財への登録・支援件数、生活文化振興等推進事業成果報告書								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑦について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ⑦についてアウトカムが複数設定できない理由								

費目・使途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)</small>	I.			J.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	賃金	10.2			
	事業費	諸謝金、旅費、雑役務費	15.5			
	一般管理費	管理的経費	2.6			
	自己負担額		▲0.4			
	計		27.9	計		0

I

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社文化科学 研究所	8010401025918	令和4年度「生活文化調査 研究事業」委託業務	27.9	一般競争契約 (総合評価)	1	98.4%	
2	株式会社淡交社	9130001005101	令和4年度生活文化振興等推進事業企画・運営業 務「茶の湯のこころ」プロジェクト	9.6	随意契約(企 画競争)	7	-	